



来本健作 市政クラブ

観光の現状と新たな可能性について

問 ラリー三河湾の実績と検証結果及び次回への取組を伺う。

答 令和6年3月1日から3日に、蒲郡市、岡崎市などで開催し、約5万人の観客と、多くの選手等ラリー関係者で賑わい、市内の経済活性化に寄与した。今後も集客及びシティセールスにつなげられるよう取り組んでいきたい。

問 海上航路における経緯と社会実験の結果及び方向性を伺う。

答 かつては、竹島水族館西側の乗船センターより、定期航路を運航していたが、平成15年になくなった。今回、社会実験として、8月24日に「三河湾サンセットクルーズ」を開催、10月12日から3日間、



ラリー三河湾

蒲郡鳥羽間フェリー特別運航」を行う予定である。定期航路は、安定的な利用が前提で、早期に実現は難しいが、竹島埠頭に相応しい船舶の種類や施設のあり方、観光的な利用としての不定期航路も含め、実現に向けて取り組んでいきたい。

問 竹島水族館周辺の建設工事の概要を伺う。

答 現在、既存の竹島水族館の東側に新館工事をしている。館内には国内最大級の深海生物大水槽が設置され、新館の入口前には、屋根付きのエリアができ、キッチンカー等により飲食スペースができる予定と聞いている。



大場康議 自民党市議員

空家等対策の推進に関する特別措置法の改正内容

問 新設された管理不全空家の枠組みや、所有者不存在空家の相続財産について伺う。

答 管理不全空家とは、放置すれば特定空家になる恐れがある空家のことで、行政による改善の指導、勧告が実施できる。現在判断基準を検討中である。相続財産清算人の選任請求権は、所有者が不存在になった相続財産を処分する手段として、清算人の選任請求権を地方自治体に付与するものである。

空家バンクについて

問 登録・成約実績と登録物件に対する補助制度について伺う。

答 平成28年度から92件の登録と50件の成約

がある。リノベーション工事へ最大50万円、家財処分へ上限10万円の補助を行っている。

問 新たな空家利活用事業に対する考えは。

答 民間事業者の提案を募り、公民連携による利活用促進事業の展開を検討している。

空き店舗バンクについて

問 物件登録数及び成約件数の実績を伺う。

答 令和4・5年度登録なし、6年度は8月末までに2件登録、うち店舗1件が成約した。

問 登録増の考えは。

答 商工会議所の会員や不動産業者等と連携し増やしていきたい。



新実祥悟 市政クラブ

モーターボート競走事業について

問 来年度開催予定のボートレースクラシックの概要を伺う。

答 SG・GI・GIIレース優勝者及びそれらのレースを除く優勝回数上位選手が出場するという名称で、ボートレース蒲郡では34年ぶりの開催となる。

問 ファンサービスへの取組を伺う。

答 ボートレーサーのトークショーや縁日等を開催している。また舟券購入金額に応じ商品購入・サービス提供が受けられる地域振興クーポンを配布した。

問 本年度の売上げ状況を伺う。

答 今年8月末までの売上げ額は506億円である。PGIタイインズクライマックスの

人気レースが開催予定のため、前年度とほぼ同額の1600億円を達成するよう努める。

名鉄西尾・蒲郡線について

問 利用客数を伺う。

答 令和4年度の各駅1日平均乗降者数は蒲郡競艇場前駅314人、三河鹿島駅587人、形原駅750人、西浦駅605人である。

問 利用客増への施策を伺う。

答 復刻塗装列車の運行、絵画大会と入賞作品の車内掲載、西浦駅待合所建築学生チャレンジコンペ、宿泊施設の館内利用券上乘せ等を行っている。



ボートレース蒲郡